

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子どもの保健 A				
担当者氏名	葛本 ひとみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

講義の形態:

- ・配布資料や教科書をもとに講義形式で授業を行い、内容によりグループワークを取り入れる。
- ・パワーポイントで進め、内容により視聴覚教材を用いる。
- ・レポートの作成

学習方法:

- ・レポートやグループワーク、演習等を通して理解を深める。

《授業の到達目標》

生命の保持と情緒の安定を担う保育の在り方や、子どもの健康支援について理解する。

- ・生命の誕生、出生からの連続した身体発育や生理機能の発達を把握し、新生児期から思春期の特徴を理解する。
- ・各回の学習内容と子どもの健康について考え、常に保育のあり方について探る。
- ・地域保健活動や母子保健施策等、育児支援の理解を深める。

《成績評価の方法》

平常点、提出物、グループ(個人)発表 60% 定期試験 40%

《テキスト》

新版子どもの保健 佐藤益子/中根淳子編著 (ななみ書房)

《参考図書》

保育所保育指針 厚生労働省編 (フレール館)  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府 文部科学省  
 厚生労働省 (フレール館)  
 幼稚園教育要領 文部科学省 (フレール館)

《授業時間外学習》

【予習】

「子どもの保健 Aの授業計画表」により学習範囲を確認し、テキストを熟読すること。

【復習】

テキストと配布プリントの見直しを行い、各回の学習のまとめをノートに作成すること。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	授業の概要、子どもの保健の意義・目的
2	子どもの健康と保健の意義	生命保持と母性・父性の育成
3	子どもの健康と保健の意義	「子どもの」の健康概念と健康指標
4	子どもの健康と保健の意義	地域における保健活動と児童虐待防止
5	子どもの発育・発達	生物としてのヒトの成り立ち
6	子どもの発育・発達	発育、発達の経過と速度、発育の原則
7	子どもの発育・発達	身体発育:新生児期から思春期
8	子どもの発育・発達	身体発育とその評価
9	生理機能の発達	呼吸機能、循環機能
10	生理機能の発達	免疫機能
11	生理機能の発達	消化機能、尿排泄機能、水分代謝
12	生理機能の発達	体温調節、内分泌機能、感覚機能
13	生理機能の発達	睡眠・覚醒リズムと小児睡眠呼吸障害
14	生理機能の発達	神経機能
15	生理機能の発達	精神機能、情緒・行動発達、やってみよう(保健指導:生理機能編)